

# 令和元年度業務執行報告

[令和2年6月1日 HP 掲載]

## I、法人運営の概要

## II、事業執行の内容

- ・教育目標及び基本姿勢
- ・当該年度の事業概要
- ・事業の目的計画と実施
- ・実施計画の進捗状況等
- ・認定こども園事業
- ・職員研修（園内、園外）
- ・情報発信の状況

## III、学校評価について

- ・利用者アンケートの集約内容
- ・学校関係者評価の内容

## IV、財務状況の内容

学校法人内丸学園 幼保連携型認定こども園

盛岡幼稚園

# 令和元年度・事業報告書

## I 法人の概要

- 1、法人名： 学校法人内丸学園  
 2、理事長： 坂 本 洋  
 3、住 所： 岩手県盛岡市中央通 1 丁目 6 - 4 7  
 電話：019-622-2301 Fax: 019-622-1819

### 4、設置する学校

名 称： 幼保連携型認定こども園 盛岡幼稚園  
 認定こども園（認定月日：平成 19 年 2 月 27 日）  
 類型：・幼稚園型（当初は認可外保育施設併設）  
           ・幼保連携型（平成 22 年 4 月 1 日認定）変更  
           ・      〃      （平成 27 年 4 月 1 日新制度移行）

備考：22 年度から 0 歳児～2 歳児は保育所認可【定員 21 名】、23 年度【定員 30 名】となる。運営費委託料計上は厚生労働省所管（盛岡市保健福祉部）。  
 平成 27 年 4 月 1 日から子ども・子育て支援新制度により、従来の幼稚園・保育園が単一施設となり、3 号子ども定員 30 人から 42 人へ変更。幼稚園学校教育部分は 4 学級 105 人。内訳 1 号子ども定員 45 人、2 号子ども 60 人へ変更。合計：147 人。

### 5、学級編成と定員並びに実績（認定こども園定員：147 名）令和 2 年 3 月 1 日現

項	5 歳児学級	4 歳児学級	3 歳児学級	計
定員	1 学級	1 学級	2 学級	4 学級
	3 5 名	3 5 名	3 5 名	105 名
令和元年度実績	1 学級	1 学級	2 学級	4 学級
	3 0 名	3 4 名	2 9 名(満 3 歳 0 名)	93 名
	保育【0 歳～2 歳 定員 42 名】0 歳：9, 1 歳：17, 2 歳：18			44 名

計：137 名

### 6、認定こども園受入れ実績状況（認定こども園定員：147 名）令和 2 年 3 月 1 日現

入園対象の認定	3～5 歳児(満 3 含)	0～2 歳児	計
1 号	27 名		27 名
2 号	66 名		66 名
3 号		44 名	44 名
計	93 名	44 名	137 名

## 7、法人役員・教職員の概要

理事 7名：理事長1名、理事長職務代行者1名、理事5名

(理事長：坂本洋、職務代行者：松本静毅、理事：坂本信行、荒木田一男、関 雅彦、中原真澄、黒澤淳子)

評議員 15名：寄附行為24条(1) 4名、24条(2) 3名、24条(3) 8名

開催内容：理事会6回、評議員会2回、監査：外部2回、法人監事2回 計4回

理事会	① 5月25日、②8月27日、③10月21日、④12月20日、⑤1月25日、⑥3月5日
評議員会	① 5月25日、②1月25日、
監査会	① 5月20日、②5月22日(法人)、③1月31日、④2月4日(法人)

学校関係者評価委員会：年1回(令和2年3月26日) 評価内容は別添のとおり。

苦情解決第三者委員会：年1回(令和2年3月26日) ”

教職員 36名：理事長1名、幼稚園長1名、主幹保育教諭1名、指導保育教諭1名、保育教諭14名、保育教諭(非)10名、看護師(非)2名、栄養士2名、調理師1名、調理員(非)1名、事務職員2名、

## II 事業執行の概要

### 1、教育目標及び基本姿勢

#### (1) 教育目標

生命力にあふれる子ども達が、愛情と活力と創造に満ちた生活をめざし、幼児の心身の発達に応じた豊かな体験が得られるよう教育環境を整え、一人ひとりの心情・意欲・態度の発達を養い、基礎的人間性の土台となる、生きる力や心の教育の育成を目標とする。

また、東日本大震災による被害状況が、かつて経験したことのない甚大な被災となり、これまでの危機管理対応を根幹から見直すこととなり、かけがえのない子ども達一人ひとりの命の大切さを改めて教育の根底に据え、安心安全な環境づくりに努めること。

#### (2) めざす子ども像

**園 訓：** つねによろこぶべし (いつもにこにこ)

- 健康でたくましい子ども
- よく聞きわかり行動する子ども
- すなおに感じ豊かに表現する子ども
- 心身ともに安定した生活を送れる子ども
- 神と人ともに喜ばれる子ども

#### (3) めざす教師の役割像

- 幼児一人ひとりが、より豊かに遊び、学ぶ生活を過ごせるよう援助する
- 集団生活の中で生きる力、喜びの広がりや育つ環境づくりに配慮する
- 自律と協同の育ちに配慮し、協同的な遊びや学びの環境構成を工夫する
- 総合的な教育と保育の一貫した幼児教育の保育計画づくりに配慮する

#### (4) 教育目標達成のための基本姿勢

- 型にはめない自由な個性の伸長 (個性重視)
- 遊びの十分な保障と充実感 (満足感と承認充足)
- 感性や情緒性豊かな環境づくり (夢のある環境)
- 愛情に満ちた子どもとのかかわり (愛着心の育成)
- 善悪の判断基準の適切な指示 (社会行動規範の明示)

## 2、当該年度の事業概要

運営基本方針に基づき、教育目標の達成に努め個性豊かな教育を実現した。

特に昨年度から施行された改訂教育・保育要領に基づいて、本年も引き続き幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿を意識した実践に努め、0歳児から5歳児までの一体的全体指導計画を作成し非常勤職員を含めた園内研修で共通理解を図った。

また、本年度10月から施行の幼児教育・保育の保護者負担軽減無償化に伴い、保護者説明会を実施し、給食副食費の外付け徴収につき保護者のご理解了承に努めた。

### ◎ (主な行事等)

4月：第112回入園式、始業式、JRC登録式、5月：親子遠足、避難訓練、交通安全教室、健康検診、ふたば会総会、タッピングの畑、6月：歯科検診、眼科検診、耳鼻科検診、花の日礼拝、保護者参観、7月：七夕、プール遊び、お泊り会、8月：夏休み、9月：運動会、歩き遠足、10月：銀河のしずくおにぎり教室、タッピングの畑芋ほり、ふたば祭り・作品展、11月：文化交流・不來方歌の会、収穫感謝祭、焼き芋会、トトロランド、保育参観、小学校体験学習、芸術観賞会・だだすこだん、12月：クリスマス礼拝、卒園児クリスマス会、冬休み、1月：鮭の赤ちゃん飼育、2月：保護者参観、卒園を祝う会、3月：お別れ会、修業式、第112回卒業証書授与式(各月ごとの避難訓練実施した)

### ◎ (園外イベント参加)

こいのぼり掲揚式(県庁)、食育キャラバン(県庁)、交通安全県民運動、

### ◎ 【1号認定・2号認定園児数状況】

3月末在籍：93、卒園者数：29、進級者数：64 (A)

3月末入園申込み数：36、新入園児数：36 (B)

次年度期首数(A+B)：100名

### ◎ 【3号認定園児数状況】

3月末在籍：44、卒園者数：18、進級者数：26 (A)

3月末入園申込み数：13、新入園児数：13 (B)

次年度期首数(A+B)：39名

### ◎ 幼保連携型認定こども園・盛岡幼稚園：次年度期首合計数：139名

### 3、事業の目的計画と実施

幼児教育の専門性資質向上及び幼児一人ひとりの育ちを保障する保育理念のもとに、ふさわしい教育環境をもって、幼児の心身の発達に応じた豊かな体験と感動に満ちた教育活動を計画立案し、加えて幼保一体化の認定こども園事業を積極的に取り入れた運営を実施した。

◎質の豊かな食育・給食提供のため、3号園児への自園給食調理機能の充実を基本とし、1号、2号園児への完全給食提供のため調理員の増員を含め、給食調理室稼働2年目を迎えて食育指導の充実を期した。

◎ また、個別的配慮を要する園児は保護者の強い要請により1名（両側感音難聴児1名）の受入れとなり、健常児の中で持てる能力の成長に努めた。

◎ なお、教育課程外の預かり保育（家庭部保育）は、認定こども園事業実施の中で継続して実施している。詳細利用実績は下記の通り。

◎ 新制度移行の当園の経過は、認定こども園として、平成19年2月27日付けで岩手県第一号の認定。当初は幼稚園型であったが、平成22年4月からは、認可保育園として、0歳児を加え認可保育事業として実施した実績がある。

令和元年度は、子ども子育て支援新制度のスタート5年目で、改めて幼保連携型認定こども園として、単一施設としての『盛岡幼稚園』を更に前進させた。

◎ 本年度の3号認定児の入園受け入れ実績は、平成31年4月初日在籍42名（0歳児：6名、1歳児：18名、2歳児：18名）と定員を満了状況であった。新年を迎え令和2年3月には、昨年同様に在籍数44名（0歳児：9名、1歳児：17名、2歳児：18名）と定員を上回る在籍数で、特に0歳児6名定員のところ9名在籍となった。これは入園許可認定を行う盛岡市福祉行政当局から待機児童解消のための要請によるものである。

### 4、事業実施計画の進捗状況等

計画された教育・保育活動は、年度計画所期の目的を達し、個々人の発達に応じた生きる力や心の教育の育成並びに保育養護の向上に貢献した。

特に教職員の自己点検意識が高まり、客観的に自らの指導計画や子どもに向き合う姿勢並びに教職員集団の力として園内研修実施等発揮できる体制が確立されつつある。

なお、東日本大震災を経験し、改めて危機管理対応の見直しを行い、保護者へも伝え共通理解の共有に努めた。

◎ 盛岡幼稚園 **教育実施日数**：年少クラス、年中クラス、年長クラス 40週  
3歳児（191日）、4歳児（191日）5歳児（195日）

◎ **保育実施日数**：・0歳児～2歳児 290日 ・3歳児～5歳児 290日

### 5、認定こども園保育事業（預かり保育）

#### （1）預かり保育推進事業の実績数

	満3歳児	3歳	4歳	5歳	計
2号認定利用児	0	22	22	22	66
1号認定利用児	0	3	5	3	11

3歳児から5歳児の月平均利用は77名（昨年75名）。その内1号認定児は11名。2号認定児は66名で全員標準時間利用児であった。なお、臨時的利用児は、月平均約2名の実績となった。

預かり保育の1号・2号児の保育指導状況は、臨時の預かり保育利用児を含め、3歳児、4歳児、5歳児各年齢児ごとグループに分けて各担当職員の掌握日課で実施した。

特に5歳年長児は6月以降の午後保育中の午睡を柔軟に取り入れた保育を行うこととし、幼小接続を意識したアプローチカリキュラムを考慮した処遇活動。また、早朝と延長保育は異年齢合同保育として行った。

また、土曜日保育利用は1号・2号児、年間利用実績数317人、月平均26.4人、週平均6.6人で異年齢合同の処遇であった。(3号児の保育は、別室の別処遇である)

◎年間開設日数：保育日数は年長児クラス191日及び、土曜日：延べ利用数:317名、月平均26名(昨年476名、月平均11名)、春・夏・冬休みの実施を入れ290日開設した。

◎子育て支援事業(トトロハウス)：週1回、年間開催回数30回、登録者延数：42組(昨年54組)、一回平均参加者数約6.8組(昨年10組)。**【親子参加、費用無料、前日までに申込み】**

(2) 子育て相談事業：相談件数は85件、一般：0件(昨年8件)、園児及び子育て支援事業参加者保護者：85件と、昨年の78件に対し微増した。

・相談内容：しつけ・育児が43件(51%)、排便排尿が3件(4%)、発達・障害11件(13%)登園しぶり6件、トラブル・いじめ1件、その他8件(9%)等の内容であった。

・相談対応：継続観察28件(33%)、助言指導57件(67%)。面談相談が多く助言指導が6割強を占め、継続観察ケースは、しっかりと見守り以後の報告を丁寧に実施した。

なお、本年は一般相談が皆無であり、在園児や子育て支援事業参加者の相談利用が主であった。

## 6、職員研修について

### (1) 園内研修実施状況

＊研究テーマ『子どもを理解し、遊びの質を高める援助』

学びへとつながる遊びとは何か。園全体の遊びを豊かにするために、遊びの援助について園内研修で学び合い、より深く子どもを理解していけるようにする。

日 程	内 容	記録
4月24日(水) 14時	・ 昨年の園内研修の振り返りと、年間指導計画(ポートフォリオ)の確認 ・ 今年度の研究テーマについて話し合う	瀧山
5月29日(水)	・ 各クラスで気になる子どもや、合理的配慮が必要な子どもについて様子を話し合い、対応を共通理解する。	田口
6月26日(水)	・ 年間保健計画、学校安全計画の確認と検討、見直し ・ ヒヤリハット事例から見える事故防止	村松
7月24日(水)	・ 年間指導計画の確認と検討、見直し	千葉
8月21日(水)	・ 研究テーマについて共通理解する。 ・ 「遊びの質を高めるための援助」について考える。	竹岡
9月30日(月)	・ 今年度の研究テーマに沿った事例の検討 (4歳児)(2歳児)	石田
10月30日(水)	(5歳児)(1歳児)	相原
11月27日(金)	(3歳児)(0歳児)	中村
12月25日(水)	・ 理事長先生の講話 「保育の質とは何か」 ・ 研修報告「保育に生かす絵本と手遊び」石田・中村 「学びの芽生えにつながる遊びの充実」村松	齋藤
1月22日(水)	・ 事例を通じた学びについて学年ごとに深める	高橋
2月26日(水)	・ 研究テーマについての考察 ・ アプローチカリキュラムについて(盛岡市、園内)	坂本
3月	・ まとめ ・ 次年度に向けて	林崎

＊非常勤研修 { 5月13日…安全計画、ヒヤリハット、嘔吐処理の仕方、等  
11月26日…幼児教育保育無償化、生活リズムアンケートについて  
3月10日…保護者アンケートについて、園内研修について

＊この他にも職員間で話し合いの機会を設け、研修の機会とする。

- ・ 月案・週案の作成
- ・ 特別支援について
- ・ 研修参加報告
- ・ 活動や教材の理解と研究
- ・ 園内外の環境整備について
- ・ 学期毎の反省・評価 など

(2) 園外研修実施状況 ◎特別支援に関する研修会 □保幼小連携に関する研修会 ○その他

日程	研修会（主催者）	研修内容
5.20	□保育園・幼稚園・小学校交流会（桜城小）	・学習参観 ・懇談会
6.1	○岩手県私立幼稚園・認定こども園連合会 第1回新任研修会	・講演「職場組織人として求められる人材と心構え」等 ・講演「幼児教育の重要性について」等
6.4～ 6.5	○幼稚園等初任者研修講座（県総合教育センター）「センター研修Ⅰ」	・講義「幼児期の教育の現状と課題」等 ・演習、参観
6.5	□保育所・幼稚園・小学校交流研修会	・実践紹介 盛岡市立米内幼稚園 ・分散会協議「スタートカリキュラムを基にした指導の改善」
6.8	◎幼児期における特別支援教育研究会	・講義「特別な支援を必要とする幼児の状態に応じた計画的、組織的・的指導の在り方について」等
6.14	□幼稚園・保育園・小学校交流研修会（河北小）	・授業参観 ・交流会（1年生の様子や各園の情報交換、等）
6.21	○全日私立幼連 東北地区園長・設置者研修会	・記念講演「子育てに笑いを！心と体を元気にする笑いの効果」 ・分科会「幼稚園教育要領改訂の根底となる学力観」
6.25	○5～8年保育者レベルアップ研修講座（県立総合教育センター）	・講演「幼児理解に基づく指導計画」 ・演習「学びの芽生えにつながる遊びの充実」
6.26	□幼稚園・保育園・小学校交流研修会（本宮小）	・授業参観 ・交流会（1年生の様子や各園の情報交換、等）
6.29	○ふれあいペアレントプログラム講演会	・講演「親と子のかかわり・ふれあいを育む支援の充実～ふれあいペアレントプログラムを通して～」
7.5	○母子保健講演会（盛岡市医師会）	・講演「最新の科学から見た脳の発達と共同養育～子どものこころを育むために大切なこと～」
7.6	○岩手県私立幼・認定こども園連合会 第2回新任教諭研修会	・講演「乳児保育の意義」 ・講演「障がい児保育の理解」
7.27	○岩手県私立幼・認定こども園連合会 第1回教員研修会	・講演「特別な支援を要する幼児の理解と特性に応じた指導の枠組み」 ・講演、「乳児保育の環境、乳児への適切な関わり」等
8.23	○第1回経営セミナー	・講演「処遇改善等加算Ⅱに係る研修受講要件について」 ・講演「幼児教育・保育の無償化実施に伴う課題について」 等
9.2～ 9.4	○幼稚園等初任者研修講座（県総合教育センター）「センター研修Ⅱ」	・講義と演習「発達に応じた造形表現活動」 ・講義と演習「環境構成と援助の在り方」 等
9.29	◎子どもの未来支援セミナー（県教育委員会）	・講演「子どもの失敗する権利と大人の褒める権利」
10.10	○令和元年度こども赤十字活動研究会	・講話「幼稚園・保育園のJRC活動事例とその在り方」 ・研究協議 各園の活動事例について
10.18	○東北地区私立幼稚園教員研修大会 青森大会	・第6分科会「幼小接続の視点から主体性を育む保育者の言葉について」



10.24	○幼稚園保育園関連職員研修会(盛岡市医師会)	・講演「子どもの気になる症状への対応」
10.29	○感染症集団発生予防研修会	・講義「施設内感染症～冬こそ基本～」 ・演習「備えよう！冬場の感染症～嘔吐物処理のコツ～」
11.6 ～ 11.8	○幼稚園等初任者研修講座(県総合教育センター)「センター研修Ⅲ」	・講義、演習「指導要録の概要・記載の実際」 ・研究協議「幼児理解と指導援助の視点」
11.15	○盛岡大学附属厨川幼稚園 公開保育研究会	・公開保育 ・研究協議「子どもの思いの読み取りと教師の援助」
12.16	○第2回盛岡地区会設置者・園長会例会(マネジメント研修会)	・講演「私立学校法改正に伴う留意点について」 「保育者の資質向上の取り組みについて」
1.8 ～9	○岩手県私立幼稚園・認定こども園連合会 総合研修会	・講演「学校評価とリーダーシップ」 ・講演「私立学校法の改正実施と幼児教育振興について」 ・講演「無償化時代における幼児教育の質の向上」 ・講義・グループ討議「食育計画」等
2.12	◎盛岡市障がい児教育推進協議会 実践交流会	・実践発表 盛岡市立米内小学校特別支援学級 ・講演「支援を必要とする子どもの健やかな成長を願って」
2.13	○岩手県教育研究発表会	・講演「新しい時代を拓くこれからのカリキュラム・マネジメント」 ・分科会 「幼小接続」
2.13	○児童福祉施設等栄養士研修会	・講話「アレルギーに関する新しいガイドラインの理解と正しい対応」 ・グループワーク「食物アレルギー事故を防ぐために」
毎月	○盛岡地区教員研究会	・分科会研修 6班『子どもと共に作り出す環境構成』 7班『3歳未満児の生活と保育環境』
毎月	○保育所協議会研究会	・調査研究班
2.7	○平成30年度 岩手県教育研究発表会	・授業提案 中学校国語 ・全体講演「資質・能力を育むカリキュラム・マネジメントの実現」
2.12	◎平成30年度盛岡市障がい児教育推進協議会 実践交流会兼研修会	・講演「障がいをもつこの親の思いや願い」
2.24	○食育についての市民講座	・講演「食卓にこんな食事があればいいね」等
毎月	○盛岡地区教員研究会	・分科会研修 6班『子どもと共に作り出す環境構成』 7班『3歳未満児の生活と保育環境』
毎月	○盛岡市保育所協議会	・調査研究班「保育者ハンドブックの作成」等
毎月	○盛岡幼児研究会	・公立・私立幼稚園共同研究会

## 7、情報の発信の状況（公表・公開）

- (1) 園報の発行：年4回発行。発行部数240部。法人及び園内情報。  
送付先は、保護者（110部）、同窓生、関係機関他（130部）
- (2) その他の情報発信  
幼稚園便り(全世帯)：12回（毎月1回発行）、臨時便：40回 計52回  
保育部便り(0・1・2歳児世帯)：12回（毎月1回発行）  
学年便り：年長児クラス16回、年中児クラス12回、年少児クラス12回  
給食便り(毎月)、ほけん便り：年4回  
PTA 連合会会報：2回、PTA しんぶん：12回、あんふあん：12回
- (3) ホームページ：幼稚園の沿革及び業務内容の紹介。新制度に伴い全面変更。  
園児活動状況の随時紹介（**ここにこ園日記41回発行**）は好評。  
また、業務執行・年度状況の報告（財務状況を含む）を公表。  
アドレス：<http://www.1907-mkg.com/>
- (4) インターネットおたより（岩手県立大学ソフトウェア情報学部共同プロジェクトで実施）  
多様化する保護者ニーズに対応するため、従来発行している「園・クラスたより」や「個人連絡帳」の中間的なおたよりとして活用。 **回数：20回発行。**

## III 学校評価について

平成19年6月に学校教育法、同年10月に学校教育法施行規則の改正により、自己評価・学校関係者評価の実施・公表に関する規定が新たに設けられました。

当園では、教職員による業務の自己点検・自己評価は、平成20年度から実施しております。昨年度は、教職員自己評価結果の概要を報告しましたが、本年度は保護者意向調査を実施しましたので集約内容を公表します。

また、新制度によって単一施設となり、従来の幼稚園のみに設置されていましたが『学校関係者評価委員会』、及び保育園にのみ設置されていましたが『苦情解決第三者委員会』を、単一施設として両委員会を設置し、令和2年3月26日に、学校関係者評価委員会及び苦情解決第三者委員会と合同で報告会を開催し、本年度の園の運営並びに経過について報告し評価して頂きました。

### 1、令和元年度保護者アンケートの集約と分析報告

- 調査期間 令和元年11月29日～12月11日
- 対象者 就園児保護者全員
- 回答は無記名。回答数は135名中117名。 回答率は86.7%。
- 自由記述欄に回答していただいた意見については、複数回答があったものを主に紹介する。
- 集計結果については、職員、保護者、理事会・評議員会、第三者評価委員会に報告する。また、改善を要する事項については運営委員会で検討し、次年度の経営方針に反映させる。

#### アンケート内容と集約

問1 お子さんは何歳クラスですか。該当に○をしてください。

（この設問結果は省略します）

## 1 教育・保育について

問2 お子さんは、幼稚園に行くことを楽しんで（楽しみにして）いますか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

	ふたば			つぼみ			いちご			Cクラス			Bクラス			Aクラス			計		
選択肢	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
回答数	5	0	1	12	0	3	14	1	1	29	0	1	28	0	0	20	0	2	108	1	8

問3 盛岡幼稚園での教育保育活動でよいと思われることはなんですか。

	給食	好きな遊び	園庭での遊び	お祈り	読み聞かせ	お絵かきや作品作り	歌	観察園での栽培活動	えいご	ダンス	ホールでの遊び	散歩	その他
0歳～2歳計	35	27	26	19	29	32	18	8	19	21	7	22	0
3歳～5歳計	69	62	64	49	63	63	46	65	66	56	58	44	7
全体計	104	89	90	68	92	95	64	73	85	77	65	66	7
割合%	88.9	76.1	76.9	58.1	78.6	81.2	54.7	62.4	72.6	65.8	55.5	56.4	6.0

問4 盛岡幼稚園での行事でよいと思われるのはなんですか(該当全て)

	花の日礼拝	収穫感謝祭	親子遠足	歩き遠足	誕生会	運動会	保育参観	保護者面談	ふたばまつり	トトロランド
0歳～2歳計	16	32	13	13	29	34	25	23	26	13
3歳～5歳計	50	62	54	68	67	71	55	53	56	57
全体計	66	94	67	81	96	105	80	76	82	70
割合%	56.4	80.3	57.3	69.2	82.1	89.7	68.4	65.0	70.1	59.8

問5 活動や行事でもう少し充実してほしい内容がありましたらお知らせください。

### 0歳～2歳児

- ・体操や英語 ・親子行事 ・体を使った遊び
- ・普段の様子をみたいので、保育参観（自由参加）が保育部でもあったら嬉しいです
- ・保育部にも入園式があったらいいなあと思います

### 3歳～5歳児

- ・子どもが誕生月の誕生会に親も参観できると良いです（C2、B2、A2）
- ・発表会がないのは少し残念でした（C2、B3、A1）例えばステージでみんなで歌うだけでも参観日に見られたらいいなと思いました。記録用に撮影したい。

## 2 職員・保育教諭について

問6 職員・保育教諭は、笑顔と適切な言葉づかいでの対応に努めていますがいかがですか。

	ア 満足	イ やや満足	ウ 普通	エ やや不満	オ 不満
0歳～2歳計	32	6	0	0	0
3歳～5歳計	65	10	5		
全体計	97	16	5	0	0
割合%	82.9	13.7	4.3	0	0

問7 保護者と職員・保育教諭とのコミュニケーションはうまくいっていますか。

	ア 満足	イ やや満足	ウ 普通	エ やや不満	オ 不満

0歳～2歳計	31	6	0	0	0
3歳～5歳計	58	12	9	1	0
全体計	89	18	9	1	0
割合%	76.1	15.4	7.7	0.9	0

問8 職員数は各クラスとも基準より多く配置していますがいかがですか。

	ア 満足	イ やや満足	ウ 普通	エ やや不満	オ 不満
全体計	96	15	6	0	0
割合%	82.1	12.8	5.1	0	0

問9 職員や保育教諭の対応で感心したこと、うれしかったことがありましたらお書きください。

#### 0歳～2歳児

- ・毎日子どもの様子をどの家庭にもお話くださっていることは有難いことだと思っています(9)
- ・いつも家庭の事情に合わせて対応してもらっているので有難いです(2)
- ・保育部では他学年の先生ともたくさんかかわっていただき安心感があります

#### 3歳～5歳児

- ・どの学年の先生も子どもの名前を覚え呼びながら挨拶、声をかけてくれたり、忙しい中でも保護者への挨拶がしっかりとっていて、とても素晴らしいです(C7、B4、A1)
- ・各先生が一生懸命子ども達を見てくれているのを感じます。子どもの様子を教えてくれる。(C4、B3、A1)
- ・困ったときに相談にのっていただき助かりました(B1、A1)
- ・どんな遊びをしているか、どのような工夫をして遊んでいるか、細かいところまで見て下さり教えていただきうれしかったです(B1、A1)

問10 職員や保育教諭の対応でもう少し配慮していただきたい事がありましたらお書き下さい。

#### 0歳～2歳児

- ・急な体調不良でお迎えが必要な時、必死に業務調整をしているところで再度お迎えの催促が来ると余裕なくなる。すぐに行ける時もあれば予定があつて抜けられない状態であることをわかってほしい。職場にも迷惑をかけないようにと思って働いている

#### 3歳～5歳児

- ・子ども同士のトラブルがあった際に名前をふせずに教えて頂きたいです(B4、A1)。また双方の親にトラブルについて伝えている、伝える予定の有無など明確にして頂きたいです
- ・13:30のお迎えだと詳しく様子をお知らせしてくれるが、夕方のお迎え時は先生たちが仕事をしているため、こちらから行かないと様子が聞けない。(C1、A1)

### 3 給食について

問11 毎日の給食の内容はいかがですか。

	ア 満足	イ やや満足	ウ 普通	エ やや不満	オ 不満
全体計	104	9	4	0	0
割合%	88.9	7.7	3.4		

問12 1号児・2号児におたずねします。10月より給食費が有料になりましたが、料金はどれですか。

	ア 高い	イ 妥当	ウ 安い
計	2	68	6
割合%	2.6	89.5	7.9

問 13 給食に関して感想や要望等がありましたらお書きください。

**0歳～2歳児**

- ・引き続きレシピなどの紹介をしていただけると参考になります(2)
- ・アレルギー対応の給食を作っていただきありがとうございます(2)
- ・不安なことを先生に相談したら直接栄養士と話す機会を設けていただけて、不安が解消されてよかったです

**3歳～5歳児**

- ・主食もだしていただきたい(温かいご飯を食べられるといい)(C1、B2、A1)
- ・食事の幅を広げて頂いて家でも食べられるものが増えました。(C2)

**4 ご家庭と幼稚園との連携について**

問 14 連絡帳(保育部)や送迎時の保育教諭との会話などを通じて、園や家庭での子どもの様子について情報の交換ができますか。

	ア 満足	イ やや満足	ウ 普通	エ やや不満	オ 不満
全体計	78	18	19	2	0
割合%	66.7	15.4	16.2	1.7	0

問 15 幼稚園やクラスの様子などについて、「園だより」や「クラスだより」、「WEB」などを通じて、お知らせしていますが、それに対する満足度はいかがですか。

	ア 満足	イ やや満足	ウ 普通	エ やや不満	オ 不満
全体計	67	34	13	3	0
割合%	57.3	29.1	11.1	2.6	0

問 16 問 14 や 15 についての感想や要望などがありましたらお書きください。

**0歳～2歳**

- ・ウェブでよいのもっと写真が見たいです、残しておきたい。(2)

**3歳～5歳**

Cクラス

- ・ウェブでよいのもっと写真が見たいです、残しておきたい。(C2、B4)
- ・WEBの写真を見る時、開くまでに時間がかかることがあります。(C2、B1)

**5 子育てについて**

問 17 子育てについて、どのように感じていますか。

	ア、非常に楽しい	イ、楽しい	ウ、負担である	エ、非常に負担である
0歳～2歳計	13	23	1	0
3歳～5歳計	26	51	7	0
全体計	39	74	8	0
割合%	32.2	61.2	6.6	0

問 18 当園では子育て相談の対応にも努めていますがいかがですか。

	ア 満足	イ やや満足	ウ 普通	エ やや不満	オ 不満
0歳～2歳計	23	13	1	0	0
3歳～5歳計	34	19	22	4	0
全体計	57	32	23	4	0
割合%	49.1	27.6	19.8	3.4	

問 19 ご家庭ではお子さんの育ちに関して最も気を使っている事柄三個教えてください。

	早寝早起き	食事	食べ物の好き嫌い	あいさつ	読み聞かせ	テレビ等の視聴	登園時刻	友達関係	健康・病気	その他
0歳～2歳計	14	22	6	26	5	7	1	4	24	2
3歳～5歳計	30	49	10	49	11	14	7	19	49	8
全体計	44	71	16	75	16	21	8	23	73	10
割合%	37.6	60.7	13.7	64.1	13.7	17.9	6.8	19.7	62.4	8.5

## 6 その他、ご意見・要望・感想など

### 0歳～2歳

・送迎時の駐車場の使い方、子どもだけで道路を渡らせている方、話し込んでいる方などが見受けられる（一人一人の意識だと思うのでなかなか難しいかと思うが）

### 3歳～5歳

- ・いつもありがとうございます(C2)。安心して預けることができます(C2、B2、A1)
- ・週末の絵本の貸し出しを楽しみにしています。どんな本を選んでくるか親も楽しみです
- ・園から頂く子どもの写真が年間で10枚しかなく寂しい。もう少し提供してほしい(B2)
- ・WEBでのクラス写真が8枚しかなく、自分の子どもが写っていないこともしばしば、それは仕方ないと思うけれど、せめて必ず1枚はクラスの子たちとの集合写真を載せるようにしてほしい。

## 考察

### 教育・保育に関して

- ・問2で、約92%の子は幼稚園に行くことを楽しみにして登園している。
- ・問3及び問4は、幼稚園部の保育活動や行事で保育部では行っていないものがあるので、集計は別々にした。
- ・50%以下のものはなく、大方プラスの評価をいただいている。やや評価が低く50%台の値を示したのは、活動では「歌」「ホールでの遊び」「散歩」「お祈り」。行事では「花の日礼拝」「親子遠足」が50%台であった。これらについては、活動や行事の意義を伝えながら活動に工夫を加えていきたい。
- ・問5に関して、34名の方からご意見をいただいた。誕生会に親も参加できるといい(6名)。発表の機会が少ない(6名)。との意見をいただいた。これについては、園全体として考えていかなければならない。ただ、三学期の参観日は、各クラスとも発表を予定しています。

### 職員の対応に関して

- ・問6で、職員の対応について尋ねた。83%が「満足」、14%が「やや満足」と答え、「やや不満・不満」はなかった。問7は職員とのコミュニケーションについてであるが、76%の方が「満足」、15%の方が「やや満足」と答えている。
- ・問8で職員の配置について尋ねた。82%が「満足」、13%が「やや満足」と答えている。
- ・問6, 7, 8の結果より職員の対応については、プラスの評価をいただいていると判断できる。
- ・問9で職員の対応で感心したこと、うれしかったことを尋ねたら、保育部は24人、幼稚園部は56人の方から回答があり、そのすべてを紹介できないので複数の方からの指摘を紹介した。
- ・保育部では、子どもの成長について話していただいたこと、家庭の事情に配慮していただいていることに複数の方が指摘している。
- ・幼稚園部では、担任以外の職員も子供を理解し対応していただいていること、子どもの出来事を知らせてくれること、一人一人の子供に対応していること、相談に乗っていただけることなどがあげられている。

- ・問 10 で職員の対応でもう少し配慮していただきたいことを回答して頂いたら、保育部は 3 名、幼稚園部は 10 名の方から記入していただいた。忙しそうで声をかけにくい。子どもたちのトラブルの際、相手側にどう伝えているのかを話してほしい。
- ・問 6 から問 10 を総合的に判断すると、職員の対応には大部分の方は「満足している」ととらえることができる。

#### 給食について

- ・問 11 「給食内容」では、96%の方が「満足・やや満足」と回答していただいた。
- ・問 12 「給食費」については、90%の方が「妥当」、8%が「安い」との回答であった。
- ・問 13 で給食に関する感想や要望をうかがった。保育部は 13 名、幼稚園部から 27 名の方から回答していただいた。
- ・栄養を考え食べやすいように調理していただき感謝です。アレルギー対応や様々な食材の調理、友達と楽しく食べている様子などの、感謝のコメントが多かった。引き続きレシピを紹介してほしい。主食持参の検討をなどの要望もあった。

#### 家庭と園との連携について

- ・問 14 で園と家庭との情報交換について訊ねた。約 82%の方が「満足・やや満足」と回答している。
- ・問 15 で園からの情報発信について訊ねた。約 86%の方が「満足・やや満足」と回答している。
- ・問 14,15 より家庭との連携については、概ねプラスの評価をいただいているものと判断できる。
- ・問 14 や問 15 の感想や要望について訊ねた。保育部は 8 名、幼稚園部は 23 名からご意見をいただいた。保育部、幼稚園部とも web に対する要望がみられた。開くまで時間がかかるとか写真をもっと増やしてほしいなどである。

#### 子育てについて

- ・問 17 で、93%の方が子育ては「非常に楽しい、楽しい」と回答している。「非常に負担」はいないが、「負担」と感じている方は 8 人いる。
- ・問 18 で、当園での子育て相談の対応について訊ねた。77%の方が「満足・やや満足」と回答している。
- ・問 19 でお子さんの育ちに関して最も気を使っていることを 3 項目あげてもらった。60%台の項目は、「あいさつ」、「健康や病気」、「食事」であった。次に多かったのは「早寝早起き」で 38%の方であった。その他の項目は 20%以下であった。

#### まとめ

- ・約 9 割の子どもたちは幼稚園に登園することを楽しみにし、職員の対応にも約 9 割の保護者がプラスの評価で回答していただいた。このことは、本園の運営方針や日々の職員の保育活動に対してご理解をいただいているものと判断できる。日ごろの職員の努力が認められ感謝したい。
- ・保育参観の持ち方等課題が指摘されたので、今後職員間で検討していきたい。
- ・職員の対応でうれしかったことを尋ねたら、多くの方 (69 人) から回答していただいた。これは、問 5 や問 9 などの自由記述での回答で最も多く、内容も職員の励みになるものばかりであった。
- ・自由記述形式の回答では、多くの感想や意見が寄せられた。すべてを紹介できなかったが職員間では一つ一つに目を通し、日ごろの保育活動に生かしていきたい。
- ・アンケートへの保護者のご協力に感謝します。

## 2、学校関係者評価委員会並びに苦情解決第三者委員会

(学校関係者評価委員並びに苦情解決第三者委員合同協議会)

○ 令和2年3月26日 5時半

○ 出席者 保護者代表 野又真美 村上涼子

○ 学識経験者代表 高橋真司

○ 地域住民 黒沢淳子

○ 苦情解決第三者委員 田村幹雄 沼田崇子

○ 坂本理事長 坂本園長 主幹：吉田 指導：高村

### 1、開会

### 2、委員の紹介

### 3、理事長挨拶

### 4、委員長・副委員長選出

### 5、報告と協議

・令和元年度業務執行報告

・令和2年度業務運営方針並びに学級編成

### 6、評価

A Q ヒヤリハットの資料の中にも「共有」ということばが多くあり大切なことだと思う  
園内研修は、常勤教諭だけで行っているのか？

A 両方実施している。しかし、常勤・非常勤一緒に研修をしていくことが望ましいが、勤務割の関係で同時の開催は無理なので、非常勤教諭の研修を年に3回計画的に行っている。

Q 小学校体験学習を経験した後の子どもたちの様子について

A 経験したことによって、学校に対して期待を持ったり楽しみにする姿が見られた。

また、就学に対して不安に思っていた子が、卒園した先輩の子どもたちが体験校での対応・案内をしてくれて安心した気持ちになったようだ。

Q 子育て相談の悩みはどんなものがあるか

A ・発達やしつけの内容についてが多い。

・1、2歳児の特徴のイヤイヤ期のこと等で多くのご相談になっている。

B 地域の役員として、コロナの影響で卒業式も縮小や参加制限があり心配される。

また、学校は休校が続く地域の子とも会としての行事開催も難しい状況となっており、共働き家庭が多いので、子ども会行事にも参加する親が少なくなっているのは残念という状態がある。

C 園生活のパワーポイントを通して子どもたちの姿がよく分かった。また、工夫を凝らした教育内容になっていることを感じた。

子どもを幼稚園に通わせていた時代は親同士で子育てについての情報交換ができたことから、親同士が会える場があるといいと思った。話をすることによって育児ノイローゼも解決していくこともあるのではないかと。現状はどうか。

D Cさんの話を聞いて、共働き家庭が多いので親同士のつながりが難しいが、保護者同士が話し合える機会があるといい。

幼稚園の先生とは、また別の観点で母親同士のつながりがほしい。

園から：保護者同士のコミュニケーションの場作りは、とても大切なことと認識している。



現状は、認定こども園となり、かつての幼稚園教育だけでなく保育事業も実施していることから共働き家庭も多く、親同士の語らいの場作りはなかなか容易ではない。しかし機会をとらえて、例えば親御さんが子どもさんをお迎えに来た時や保護者参観日等で母親同士のつながりの機会を期待しているし、実際そのような関わりが生まれているようです。なお、当園では3歳以上の幼稚園部は保護者会・ふたば会が組織され、活動も活発です。

E Cクラスの途中から転園してきた。(聴覚障害) 子どもにとっての障害がハンデキャップとなり活動、育ちに支障があることを心配していたが、園の先生が一人一人に寄り添った教育を行ってくれていることが素晴らしいことで感謝している。

また園では、担任を中心として支援を要する子どもの研修会とか、支援学校での話し合いにも参加してくれて感謝しかない。

F 園児の事故とかヒヤリハットの事例の報告があったが、自分としては、事例のヒヤリハットはみんな事故と捉えても良いように思う。

ヒヤリハットの集計の仕方や時間帯などを分析してもいいのではないかな。

また、保護者アンケートの取り方でも、5段階ではなくもう少し細かくするとまた違ったことが見えてくるのではと思われる。

園から：貴重なご意見として今後に生かしていこうと思う。

G 保護者アンケートの結果を、親にも報告し伝えたのは良いと思う。

園内研修の進め方で、保護者が知りたいことをリンクしていく方法もあるのではないかな。

#### 7、終えての課題

・現状の施設運営は、新制度へ移行して5年経過しているが幼保連携型認定こども園として、幼児教育と保育所事業が一体的に行う単一施設運営となった。

従って、かつての幼稚園と保育所事業が混在する事業内容で、対象児も0歳児から小学校就学前の幼児として、発達の幅広い乳幼児である。示される教育要領や保育運営指針は文部科学省と厚生労働省の整合性を図りながら微妙な部分で保育養護と幼児教育のそれぞれの文化の違いがあり、具体的保育指導の上で今後の課題である。

・本日の委員からの評価は、概ね良好に運営しており継続進展するようにとの内容。

また、本日の意見にもあるように、保育部でも親同士の交流の場ということを考えていきたい。クラス懇談会後に親だけで過ごす時間を作った時もあるので、今後も続けていく方向で検討していく。

・ヒヤリハットについてはもう一度共通理解を図り事例の捉え方を探り、また様式も踏まえて考えていく。集計の仕方も検討していくことにする。

#### IV 財務の内容（令和元年度）

##### 1、資金収支計算書

収入の部		
科 目	平成 30 年度	令和元年度
学生生徒等納付金収入	40,816,492 円	27,498,713 円
手数料・寄付金収入	274,030 〃	274,046 〃
補助金収入	115,199,850 〃	127,071,758 〃
付随事業・収益事業収入	3,643,220 〃	5,387,055 〃
受取利息・配当金収入	1,488,767 〃	1,794,255 〃
雑収入	1,865,480 〃	1,579,250 〃
その他収入(前受、未収金・預り金)	36,755,284 〃	22,947,771 〃
資金収入調整勘定	△4,663,750 〃	△6,783,723 〃
前年度繰越支払資金	68,103,307 〃	72,868,420 〃
<b>収入の部合計</b>	<b>263,482,680 円</b>	<b>252,637,545 円</b>
支出の部		
人件費支出	107,095,505 円	115,612,065 円
教育管理経費支出	27,359,897 〃	29,512,046 〃
借入金等返済・利息支出	0 〃	0 〃
施設・設備関係支出	2,803,174 〃	4,003,828 〃
その他支出(資産運用・預り金・前払)	53,993,574 〃	34,406,431 〃
資金支出調整勘定	△ 637,890 〃	△ 139,760 〃
翌年度繰越支払資金	72,868,420 〃	69,242,935 〃
<b>支出の部合計</b>	<b>263,482,680 円</b>	<b>252,637,545 円</b>

##### 2、貸借対照表

資産の部		
固定資産	382,932,155 円	391,194,406 円
流動資産	77,731,410 〃	76,167,538 〃
<b>資産の部合計</b>	<b>460,663,565 円</b>	<b>467,361,944 円</b>
負債の部		
固定負債	3,550,000 円	4,250,000 円
流動負債	747,557 〃	0 〃
<b>負債の部合計</b>	<b>4,297,557 円</b>	<b>4,250,000 円</b>
基本金の部		
<b>基本金の部合計</b>	<b>287,940,247 円</b>	<b>290,209,100 円</b>
消費収支差額の部		
翌年度繰越消費収入超過額	168,425,761 円	172,902,844 円
<b>負債, 基本金, 消費収支差額の部合計</b>	<b>460,663,565 円</b>	<b>467,361,944 円</b>

【注】 ・重要な会計方針の変更、該当事項なし。 ・減価償却額の累計額の合計： 138,336,865 円

・令和元年 10 月から無償化実施